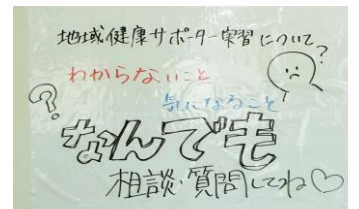


令和6年度『地域健康サポーター実習： 全体報告会・交流会』を紹介します。



交流ブースには3年生による
相談コーナーを設置しました

4月18日に「地域健康サポーター実習全体報告会・交流会」を開催しました。本実習は、地域住民の健康生活を支援するために学生が「地域健康サポーター」として様々な地域活動に参画する体験型学修です。新3年生は新2年生に、令和6年度に体験した17の活動を紹介しました。活動内容は、ふうせんバレー・ボッチャ・カローリング等の障がい者スポーツ、病気や障がいをもつ人たちとのキャンプやレクリエーション活動、高齢者や子育て中の親子の居場所づくり、健康教育、学生献血推進協議会、メディカルラリー、オフラインキャンプ等でした。3年生は「幅広い年代の人とのコミュニケーションの取り方や信頼関係の築き方」「一人一人を大切にすることの意味」「共に過ごすことの意味」「自分の感性や特性を活かした活動」等、活動を通して多くの学びを得ました。全体報告会・交流会に参加した2年生の感想には、「県内にこんなに多種多様な活動があることを知った」「3年生の周りの人に対する観察力や配慮が素晴らしい」「この実習を通して上手な人との関り方や信頼関係の築き方を学びたい」等がありました。2年生も楽しみながらももしっかり学んでほしいです。学生たちの活動を温かく見守り、受け入れて下さっている事業担当者の方々や地域住民の皆様にご心から感謝いたします。(地域健康サポーター実習担当教員一同)



新3年生より2年生に向けた報告会



メモをとりながら熱心に聞く新2年生



右側：司会進行・タイムキーパーの学生



学科長総評と総合司会学生の挨拶



午後からの交流ブース・展示



午後からの交流ブース・展示



認知症カフェの皆さんと学生の交流



交流会ブースでは楽しそうな笑い声も



熱く語る3年生と熱心に聞き入る2年